

令和3年度第1回尾張旭市地域づくり懇談会 会議要旨

1 開催日時

令和3年10月19日（火）午前9時30分から午前10時30分まで

2 開催場所

尾張旭市役所2階 203会議室

3 出席者

座長：高橋 眞知子（名古屋経営短期大学）

大川 正喜（尾張旭市商工会）、水野 恵介（あいち尾東農業協同組合）、

横山 史佳（尾張旭市観光協会）、酒向 清治（瀬戸信用金庫）

4 欠席者

なし

5 傍聴者数

0名

6 出席した事務局職員（その他の出席者）

・事務局

企画課長 山下 昭彦、企画課長補佐 齋場 智充、企画課主査 水谷 緩美

・オブザーバー

産業課商工振興係長 永谷 尚子

7 議題

第一期総合戦略の評価検証について

8 会議の要旨

【主な質問】

・P8の指標「認定農業者数」に関し、認定農業者・新規就農者の平均年齢はいくつか。また、今後の農業の方向性はどのようなか。（座長）

⇒ 令和3年10月1日時点で、認定農業者の平均年齢は62.6歳で、認定新規就農者の平均年齢は34歳である。（事務局回答）

⇒ 今後の方向性については、引き続き担い手による集積・集約化を目指し、都市近郊を活かした継続的で安定的な農業ができるように、市や農協が連携して支援していく。また、既存の新規就農者についても、資金面での支援を継続しながら販路の確保など、将来に渡って安定的な農業が経営できるよう支援していく。さらに、特産品であるいちじくの推進を図りながら、新たな特産品の創出やさらなる新規就農者の確保を目指していく。（事務局回答）

⇒ 定年退職後に就農する年金農業にも取り組んでおり、ふれあい農園などから始め、いずれは農地を借りるまでになれるよう支援していく。農業まつりでは、

農起業支援コーナーを設けPRを実施している。（事務局回答）

・儲かるための農業はなかなか難しいため、認定農業者数は少ないのかもしれない。（水野委員）

・尾張旭市は農協の産直所の規模が小さいため、大府市の産直所のように大きくできないかという意見をいただくが、他市から仕入れてしまうと地元のものが売れなくなるということになってしまう。（水野委員）

・高齢になると体を使った仕事が難しくなるため、農業の継承は難しく、前進できていないと思うが、考えていかなければならない問題である。（座長）

・尾張旭市は事業所があまり多くないため、承継問題は顕在化されていない。創業塾を実施して6年目になるが、受講者数は93名で、このうち48名が開業に繋がっている。若い人の開業が多くあるため、高齢で辞める人を止めるよりも若い人を増やすということも大事になってくる。（酒向委員）

・承継がスムーズにいつているところは相談には来ないため、承継の相談は年に1、2件ほどである。以前から景気が悪くなると、親方から独立を促されることがあるが、最近これが少し増えてきた印象がある。（大川委員）

・P8の指標「地域特産品の数」に関し、ヤーコンやネギなどを新たな特産品としているが、スーパー等で見かけないため、目につくようにできないか。（座長）

⇒ ヤーコンやネギは新たな特産品の候補ではあるが特産品ではなく、現在、新たな特産品とするために、新規就農者やJA産直友の会などに働きかけを行っている。生産農家や生産量等の目途がいたら市役所のロビー販売や学校給食、各イベントなどでPR活動を実施していく予定である。（事務局回答）

・福井の方では小学6年生になったら松葉ガニを一人1杯給食に出るところがある。尾張旭市でも地元の名産を給食に出すなど、子どもの郷土愛に繋がることを行うと良い。（座長）

・P27の指標「開かれた学校づくりに対する地域住民の満足度」に関し、開かれた学校とはどういったものを指しているのか。（座長）

⇒ 数値を取得するアンケート項目では、「学校の教育方針などの情報提供」や「学校行事に関する情報提供」、「学校の施設・設備の地域開放」の3つの満足度を取得している。具体的な取組みとしては、各校によって様々だが、学校だよりを回覧板で回覧したり、地域活動を行ったりしている。また、体育館等の学校開放も開かれた学校づくりとしている。（事務局回答）

・P34の指標「高齢者虐待件数（認定）」は、施設での虐待なのか、それとも家庭での虐待なのか。

⇒ 家庭での虐待件数である。（事務局回答）

・この数値が多いのか少ないのかが分からないため、愛知県全体や他県との比較

があると分かりやすい。なお、「介護は在宅」とする方向にある中、虐待は個人で解決できる問題ではないため、行政サポートが必要になる。（座長）

・ P 4 1 の指標「避難所の充足率」に関し、防災に関する情報はPRしているのか。（座長）

⇒ 広報誌で定期的に防災情報を発信しており、過去1年では10回ほど掲載している。また、学校や自治会等から依頼がある都度、出前講座を行っており、令和2年度では5件、今年度では4件実施しており、今後2件の実施を予定している。（事務局回答）

・ 来年度のイベントの内容は未定であるが、新型コロナウイルス感染症が落ち着いた際は、リアルでのイベントを開催したい。（横山委員）

・ 尾張旭市は良い街だと思うため、その良さを維持して行ってほしい。（座長）

【指示・確認事項】

・ 次回懇談会等の開催内容について説明（事務局）

【その他】

・ 名古屋経営短期大学の無料講座について説明（座長）

・ 瀬戸信用金庫アートギャラリーについて説明（酒向委員）